

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2009年5月17日現在

概況 アイダホ州の2009年5月17日に終る1週間の気象は、強風を伴う低温気象で始まったが週の終わりにかけ温暖気象となった。降雨は平年以下であった。N地区の最高気温は72~79度Fであり、平均気温は平年を1~5度F下回った。1週間の降水量は0.19~0.79インチであった。SW地区の最高気温は88~91度Fであったが、最低気温が27~31度Fと低く平均気温は平年を1~5度F下回った。1週間の降水量は0.00~0.07インチと極めて少なかった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.0日(前週:4.8日)となった。Topsoilの土壤水分は前週より減少し、“Short”が多少増加した。N地区の海拔高い地方では、低温が続き冬小麦の生育に遅れが目立った。2009年産冬小麦は州平均で51%が節間生長期に入り、全体の7%が穂孕み期となった。5年平均ではこの時期に2%の出穂であるが、今期は未だ出穂した圃場は無かった。冬小麦の作柄は“Good”から“Excellent”へ上昇した圃場があったが、“Fair”の小麦の作柄には変化が見られなかった。春小麦の播種はN地区にて順調に進んだが、出芽は低温の為遅れていた。播種は州平均で93%にて完了し、67%にて出芽した。

土壤水分(*)

		(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week		0	3	89	8
	Last week		0	1	90	9

冬小麦の生育状況(*)

	(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr Ave
Jointed		29	29	NA	NA
Boot		7	5	NA	NA3

冬小麦の作柄状況(*)

	(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week		0	0	10	30	60
Last week		0	0	10	40	50

春小麦の生育状況(*)

		(%)	North	Southwest	South-Central	East	State Ave.
Planted	2009		87	100	99	91	93
	Last year		92	100	100	90	92
	Ave.		97	100	100	90	93
Emerged	2009		25	100	91	65	67
	Last year		27	100	95	70	64
	Ave.		64	98	97	66	71

(*) Source: National Agricultural Statistics Service, USDA-Idaho Field Office. Ave. means average of 2004,2005,2006 and 2008 crop years

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.